



あいサポート

とっとりフォーラム24

“A.R.E.”（インクルーシブシティ）をめざして！！

鳥取県発「あいサポート運動」も今年で15年を迎えます。鳥取県はこの間、広角視点であらゆる側面からあいサポート運動の普及・啓発に努力しています。

今年のフォーラムは「人権」を根底に共に生きることを当たり前とした“すばらしき世界”を描けたら、平和の核になると信じます。今年も反省なくやっぱり欲張り企画となりました。

“お正月はとっとりで！”お待ちしております。

プログラム

《 令和6年1月6日（土） 》 会場：米子コンベンションセンター国際会議室

- 9:00 - 9:30 **オープニングセレモニー♪ ぴょんぴょん♪ 華やかにフォーラムスタート**
障がいのあるなしにかかわらず、共に大きく跳ねましょう！“うさぎダンス”で大歓迎
歓迎のごあいさつ 伊木 隆司（米子市長）
- 9:30 - 10:40 **「本は心の架け橋」**
幼少期にお母さんと死別され、父親の再婚により3歳ごろから厳しい虐待の日々が続き、入浴もままならず、空腹や「くさい、不潔」と虐められ壮絶な日々の中、唯一救ってくれたのは本を読むことで広がる世界に救われたと語られる。沢山の著名作品を執筆、出版、講演活動と忙しい日々を過ごされています。素敵な笑顔とやさしさ、芯の強さにとても感動します。
ゲスト 村上しいこ（児童文学作家）
- 10:40 - 10:55 休憩
- 10:55 - 11:55 **行政説明「新しい年の障害福祉～もしかして報酬改定も聞けるかも！！」**
「だれひとり取り残さない」複雑な世の中、切れ目ない支援が…人材不足をどうする？
新しい年度の福祉動向・議論されている報酬改定（日本一早く）大きなお年玉になるかも！？新年度事業計画に必須の講座です。（なかったらごめんなさい）
ゲスト 伊藤 洋平（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課長）
- 11:55 - 12:50 休憩
- 12:50 - 13:50 **「新しい時代の 新しい福祉を切り開いた一番バッターが語る」**
中島さんの功績をここに！平成7年の「障害者プラン」は施設福祉から在宅福祉への幕開けでした。同年、滋賀県で地域療育拠点施設事業のコーディネーターに就任。「一人の不安を一人だけの不安にしない」をスローガンにネットワーク型の相談支援の実践にご尽力。それは今日につながる分野横断型重層的支援体制整備の原型の取り組みでもありました。
ゲスト 中島 秀夫（日本相談支援専門員協会名誉顧問）
大平真太郎（社会福祉法人グロー法人事務局福祉事業部長
滋賀県障害者自立支援協議会事務局長）
進行 浦田 等流（相談支援センターあかり管理者）

13:50 - 14:50 **「人を排除せず 包括し受け入れる社会へ」** (企画: あいサポートアートセンター)

文化芸術活動には、我々が目指すインクルーシブな社会の実現へ向けてのヒントがたくさんあると感じます。いろいろな視点から取り組みを伺い、障がい者芸術の広がりを共感しよう!!

ゲスト 渡部幸太郎 ((株) 山陰パナソニック代表取締役社長)
石川 誠規 ((株) シュハリ・アートデザインプロダクション代表取締役)
進行 水田 美世 (元学芸員・ウェブマガジン「トット」編集長)

14:50 - 15:05 休憩

15:05 - 16:05 **「気になる子の 生きる クラスづくりを」**

現在長野を拠点に保育・教育・福祉をつなぐ講演活動を全国視野に奔走されている講師です。元祖は「地域福祉推進」で福祉の場面の常連の顔でした。が、今その全勢力を保育に猛烈エンジン全開で熱いお話を。またの名を「福祉の吉本興業」と囁かれる講師と楽しく学べます。なりふり構わず強引にアタックし実現しました。とても大切なお話を聞こう!

ゲスト 福岡 寿 (日本相談支援専門員協会名誉顧問)

16:05 - 17:25 **「ファイナルはスペシャルゲストによる「クローズアップ現代 日本・福祉」**

今世界はどうなっているのか 環境問題 分断 孤独 戦争 … 2040年問題目前にして私たち福祉も仕方なくギアに手を付ける時が? 何が必要とされ何を削り何を創っていくのか、ステージとフロアも試行を巡らせながらこの難儀さを生きるに向かうエネルギーが沸き上がると思います。みんなで幸せにつなぐファイナルにしよう。

ゲスト 衛藤 晟一 (参議院議員・元一億総活躍担当大臣)
山本 博司 (参議院議員・元厚生労働副大臣)
久保 厚子 (全国手をつなぐ育成会連合会顧問・前会長)
平井 伸治 (鳥取県知事)
進行 広江 研 (社会福祉法人こうほうえん会長)

17:45 - 19:45 **交流会** ゲスト、参加者とともに

定員 30名 (先着30名、事前申込のみとさせていただきます。)
会場 ル・ポルト (米子コンベンションセンター内)
参加費 6,000円

《同時開催》 **子どもの心に関する理解啓発講演会**

「井田幸昌」現代美術のワークショップ & トークショー
子どもたちと一緒に絵を描き、アートやこれまでの軌跡を振り返る

日時: 令和6年1月6日(土) 13:00 - 15:30

会場: 米子コンベンションセンター 情報プラザ

申込: 別途申し込みが必要です (0859-38-6775) 申込フォーム

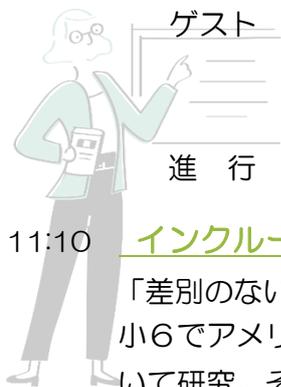


主催 鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科 子どもの心の診療拠点病院推進室

《 令和6年1月7日（日） 》 会場：米子コンベンションセンター国際会議室

9:00 - 10:00 障害のある方の「地域移行」を考える

障がいのある方の病院や施設からの地域移行には、なかなか難しいハードルや課題が多いのも現状。障がいのある方が、地域社会で安心して暮らすために、どのように環境を整え、支援体制を構築していけばいいのか。厚生労働省から専門官をお招きし、全国の動きや他県の事例も踏まえながら、考えていく時間にしましょう。



ゲスト 金川 洋輔（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課
地域移行支援専門官）
中野淳太郎（鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課長）
進行 広江 仁（社会福祉法人養和会理事長）

10:00 - 11:10 インクルーシブ（発達障害と共に）

「差別のない社会を作る・インクルーシブ教育」～誰の言葉にも同じだけの価値がある～
小6でアメリカに渡り、その後筑波大にて多様な子供が共に学ぶインクルーシブ教育について研究。その後小学校講師を経て、(株) LITALICO 研究所長として多様な分野で活躍中。経産省、文科省、日本LD学会国際委員など活躍中。

ゲスト 野口 晃菜（インクルーシブ研究者・博士（障害科学））

11:10 - 11:20 休憩

11:20 - 12:10 市民公開講座「てんかんのある人たちの包括的支援と自己決定の重要性」

公益社団法人日本てんかん協会鳥取県支部主催（鳥取県てんかんのある方の支援者研修事業）

◆この講座のみの参加希望者は参加費無料です。

講演者 1 「新しい視点で見る研究報告とドイツベーターのレポート」

荒井 勇人（鳥取大学医学部脳神経小児科医）

講演者 2 「交通事故後遺症てんかんと共に生きる人生への挑戦「家族との生活とともに」

K・M（大阪府立高槻北高等学校 実習教員・2児の父親）

座長 前垣 義弘（鳥取大学医学部脳神経小児科教授）

12:10 - 12:50 ファイナル記念講演「年頭所感」困難な時代の強い福祉

コロナに始まり物資の不足、争い等々社会のムーブメントは困難を極めています。福祉もまた行動制約、閉鎖的な環境等社会との断絶マスク等々…コロナ禍みんな頑張りました。不気味さは残っていますがコロナと戦う最盛期の混乱中、国からの福祉現場へ理解と支えは現場にとって大きな力となりました。弱者を支え、生活を守り共に生きる強い福祉を直接現地対面でお話を伺います。新年度の力強いスタートに期待します。

ゲスト 大島 一博（厚生労働事務次官）

[後援予定]鳥取県・鳥取労働局・米子市・境港市・鳥取市・倉吉市・鳥取県町村会・鳥取県教育委員会・米子市教育委員会・鳥取県社会福祉協議会・鳥取県共同募金会・鳥取県手をつなぐ育成会・鳥取県知的障害者福祉協会・とっとりコンベンションビューロー・日本てんかん協会鳥取県支部・NHK鳥取放送局・BSS山陰放送・日本海テレビ・山陰中央テレビ・中海テレビ放送・新日本海新聞社・山陰中央新報社・朝日新聞鳥取総局・毎日新聞鳥取支局・読売新聞鳥取支局（順不同・敬称略）